

令和5年度 第8回生坂村ゼロカーボン推進プロジェクト会議録

日 時：令和5年11月27日（木）16時00分

場 所：村民会館講堂

村長より

- ・エコロミ中心に各事業を進めている。オフサイト PPA に関する地区調整会議では、各地区から候補地を出してもらうなど協議を進め、概ねスケジュールに沿って進めている。調査設計業務は多岐にわたる。村民から理解をいただきながら進めていかなければならない。皆さんにご協力いただきたい。

【報告事項】

○生坂村脱炭素先行地域づくり事業（調査・設計業務）の進捗状況について

- ・マイクログリッドのルート検討状況（上生坂区、草尾区）、架空線と地中埋設の違いについて
- ・小水力発電の検討内容について、水中発電タービン発電機について
- ・EV シェアリング、やまなみ荘の木質バイオマスボイラーについて
- ・木質バイオマス利活用に向けた森林調査について
- ・古民家脱炭素リノベーションについて

○生坂村脱炭素先行地域づくり事業（事務局運営サポート業務）の進捗状況について

- ・脱炭素先行地域づくり事業に関する生坂村 HP 掲載用ページの作成及び更新について
- ・脱炭素先行地域づくり事業の実施に関する問い合わせ（電話・メール等）対応と報告について、コミュニケーション戦略について。

- ・今後開催予定の村民説明会のパンフレットを作成していく。前回説明会時に持ち帰って次回回答するとしたものについて、まとめて資料化する。いくさかてらすの関係、条例関係についても掲示する

○脱炭素事業（PPA 事業）等に関する地区調整会議について

- ・11月6日の小立野区から始まり24日の宇留賀区までの調整会議で決まった内容について

今後の進め方

・パターン1

会議で持参した図面の中で、野立ての設置に適していると思われる箇所を、調整会議の出席者から挙げていただき。その後、平林建設で適した場所かどうか調査を行い、改めて役員や区民全体に設置の是非を諮るという進め方（小立野、日岐、上生坂、大日向区）

・パターン2

設置に適した場所の検討がつかないため、村や平林建設の調査により、野立に適していると考えられる候補地を区に提示して、改めて区民に是非を諮っていくという進め方（下生野、昭津、宇留賀区）※昭津、宇留賀は土地所有者に希望確認

・パターン3

土地の所有者の意向を優先して、村側から区内の土地所有者に野立て設置の希望確認を書面で行い、希望状況を確認したところで、平林建設で調査や必要な地域との協議を行い、区に是非を諮っていくというもの。かつ、希望が無い場合は、村側で適していると思われる候補地を改めて、区に提示して進める（下生坂、草尾区）

○オンサイト PPA 事業に向けた民家個別訪問による現況調査等について

- ・民家及び公共施設の調査をしており、アンケート等で頂いた当初の見込み件数である110件のうち90%は終わっている。その後20件程希望者があり調査している。各地区でも調査を始め全体で150件調査を行った。今後もチラシの配布や、訪問等により対応していく。

【意見・質問】

- ・小水力発電用水路使用の他に方法はあるかとの質問に、サイホン方式も検討していると説明。
- ・金熊川は利用できないか、渇水期の流量調査を行うよう依頼。
- ・県道の生坂橋の点架について質問があり、今後生坂橋の管理者と河川管理者に協議していくと説明。
- ・進んでいる事業の計画の詳細について広報等に載せていくこと。
- ・オンサイト PPA について、設置したくても家屋の状況で設置できない方の対応について検討していくよう意見があった。